

佐高

スーパー グローバル ハイスクール
SGH通信

No. 3 (平成28年 5月10日発行)

被災地に届け「諦めない心」 ～第8回吹奏楽部定期演奏会～



2016年5月1日、佐野市文化会館で「第8回吹奏楽部定期演奏会」が開催されました。今回は、中高の生徒会や福祉委員の生徒も参加し、演奏会の前後に**熊本地震への募金活動**を実施しました。また、演奏に先立ち、全員で熊本地震の被災者への黙祷を行いました。

本校は、今年度よりSGHの取組で、日本初の公害事件である「足尾鋇毒事件」で活躍した田中正造をロールモデル（お手本）として課題研究を行います。また、「水俣病」から復興した**熊本県のSGH校**（熊本県立済々黌^{せいせいこう}高校）とも連携（フィールドワーク等の実施）しています。熊本市内の高校は、学校施設やライフラインの復旧状況などにより、5月9日まで**休校**が続いていました。

このような被災地への思いを込め、「諦めない心」をテーマに演奏や寸劇が行われました。当日は多くの方々に募金に協力していただきました。集まった**義援金**は、今後、関係団体に委託し被災地に送る予定です。**済々黌高校**さんからは、「心のこもった演奏、そして熊本への義援金の御提案をいただきまして、まことにありがたく思います。演奏会すばらしいですね。」というメッセージをいただきました。



↑ 開演前の校長挨拶

↑ 中高の生徒会、福祉委員会による募金活動（写真はその一部です）

今回の演奏会は、**3年生6名**が昨年の12月から構想を練って企画してきました。その成果が実り、大成功を収めることができました。吹奏楽部を代表して、部長の**田中あゆ**さんに感想を述べてもらいました。

去年の今頃、先輩から部長というバトンを受け取り、この日まで一年間全力疾走してきました。最後の定期演奏会を大好きなメンバー、先生方と無事に迎えることができ本当に幸せです。私事ですが、本番5日前に交通事故に遭い怪我をしたため、一時はステージに立つことを諦めていました。

練習に参加できず、自宅療養していた私のもとに吹奏楽部の同級生のみんなが「あゆと一緒にいたい」と伝えに来てくれました。その言葉で前向きな気持ちになることができました。私の中にも「諦めない心」が生まれました。当日は、熊本で被災された方々に思いが届くよう心を込めて演奏しました。本番後、後輩たち、OGの先輩方、先生方に「お疲れ様」と声をかけられ、涙が止まりませんでした。部活を通して、私は大切な仲間と出会い、大きく成長することができました。

吹奏楽部のみんなが大好きです。本当にありがとうございました。また、これまでお世話になった先生方、学校、そして、楽器を寄贈していただいた同窓会の皆様にも改めて感謝いたします。最後に、熊本での被災地が一日も早く復興されることをお祈りいたします。

吹奏楽部 部長 田中 あゆ（3年4組）



吉川理紗 若田部瑞菜 永島瑞希 田中あゆ 長 夢乃 尾城和樹

(アンケートから)

- ・本当に素晴らしい。感動、感動、泣きそうでした。
- ・中高生ならではの手作り感がとても良かったです。
- ・力強い演奏で日頃の練習の成果に感動しました。
- ・熊本地震の被災地への思いも伝わってきました。
- ・素晴らしい演奏をありがとうございました。これまで吹奏楽部を支えてきた3年生へ大きな拍手を送りたいと思います。お疲れ様でした。



ンパによる打楽器パフォーマンス

(下野新聞 2016年5月2日より 許可を得て転載→)

針

心

熊本地震

佐野高・付属中吹奏楽部

演奏会で義援金募る

【佐野】佐野高・同付属中吹奏楽部の「第8回吹奏楽部定期演奏会」が1日、浅沼町の市文化会館大ホールで開かれた。コンサートの前後に部員や同校の生徒会、福祉委員会の生徒が会場入り口で募金箱を持って立ち、熊本地震の義援金を募った。今後関係団体に寄託し、被災地に送る方針。

被災地への思い込め

演奏会には高校と中学の部員74人が出演。第1部は2011年度全日本吹奏楽コンクール課題曲「マーチライヴリー アヴェニユ」やアニメ「犬夜叉」の「吹奏楽のための犬夜叉」など4曲を披露。第2部では熊本への思いを込めた「諦めない心」をテーマに寸劇も行われた。詰め掛けた保護者や卒業生らは、見事な演奏とコミカルな演技に拍手を送り、笑顔を見せた。

公演前に募金活動を行う生徒ら